

財務諸表「企業のすべての活動が数字で表されている」

質的な情報 ←→ 量的な情報

どう組み合わせるか？

● アメリカの財務諸表の種類

① Balance Sheet 貸借対照表

企業の Asset (財産)

Liability (借金)

Shareholder's equity (資本金) — それぞれの大きさと中身

② Income Statement 損益計算書

企業がどれだけ儲かっているか？ (収支成績)

1) Net Sales 売上高

2) Cost(原価・費用)/Expense(費用)

Cost 何かを取得する対価、製造する対価、労務費

Expense 事業を遂行する上でかかった金

3) 利益

Operating Income 営業利益—営業活動がうまくいっているか？

Income before Income Tax 税引き前利益

営業利益から借入金の支払金利・投資先からの配当などを加減した利益

Net Income 純利益 (当期の最終利益)

税引前利益から Non-Cash ベースの (現金支出を伴わない) 特別損失や営業活動には関係ない要因 (税金など) などを加減した利益

() 内の数字はマイナス

③ Shareholder's Equity Statement

資本金や利益剰余金がどれだけ動いたか？

④ Statement of Cash Flows

現金ベースの収支表 (企業の純現金調達能力/債務支払能力)

※ Income Statement と Statement of Cash Flows

Income 現金が支払われたか、入金されたかではなく、商行為や取引が行われたかどうかで流れをつかむ。

Cash あくまで現金の流れのみ

黒字倒産「勘定あって銭あらず」

→ 財務ベース・キャッシュベースを区別する必要。

企業を判断するには両者を総合的に見る必要がある。